

会 議 録

会議名	令和7年度第1回 知立市文化芸術推進会議
-----	-------------------------

令和7年4月9日	開催場所	知立市役所第1会議室 10時～11時00分
出席者・委員	清水裕之、宇納一公、近藤博子、栗林昌弘、三宅隆弘、中石環、吉富靖、加藤愛、永井淳子、藤澤幸兄、越智さや香、岡松良典、田原園子（David Hunt 委員は欠席）（敬称略）	
事務局	宇野教育長、市川教育部長、河合文化課長、近藤文化課長補佐兼文化振興係長、水谷主査	
1. 開会		
あいさつ 教育長		
2. 会長 副会長の選任		
会長 清水裕之 委員を選任		
副会長 宇納一公 委員を選任		
3. 会長 副会長あいさつ		
4. 議事		
「知立市文化芸術推進基本計画中間見直しにおけるアンケート調査について」		
(事務局から説明)		
【委員】	事務局より説明が終わりました。何か質問や意見のある委員はいらっしゃいますか。	
【委員】	歴史民俗資料館の利用経験と満足度の項目を削除することですが、中期評価指標においては、「歴史民俗資料館の年間入館者数」の項目があります。項目削除をしても問題ないのでしょうか。	
【委員】	「歴史民俗資料館の年間入館者数」については、このアンケート調査ではなく、資料館の入口にセンサーがあり、別で把握をしていることから、問題はありません。施設や対応への満足度に関する事項については、把握する必要性が失われたと考えているということではなく、各施設で、個別でできるものであり、設問数を減らし、回答者の負担を軽減するために、今回の調査票からは削除した案としました。	

【委員】 概要版の 6 ページの重点施策 4 に多文化共生の内容があります。外国人市民のニーズはこのアンケートで把握できるのでしょうか。

【事務局】 アンケート調査での把握では難しいと思いますので、精通した方にお話を聞くことも考えられると思います。

【委員】 アンケートを多言語化するということも考えてはいかがでしょうか。

【事務局】 検討したいと思います。

【委員】 今日の会議のメンバーについてですが、社会は多様化が進んでいます。会議の委員の方は各団体の代表の方も多くお見えになりますが、意見の多様化の観点から、委員の委嘱にあたっては、幅広く意見を吸い取れるよう配慮していただいた方がよいと思います。現行の計画書の 34 ページには、経済課など、文化課以外の部署も計画に関わっています。知立市をよく知っていただくためには、市外の方、市内の方で文化芸術に関心を持っている方を掘り起こす必要があります。例えば、観光ボランティアの中には、見識の深い方がいます。可能ならば、ご参加いただくのがよいと思います。

【委員】 事務局でご検討をお願いします。ほかにはございますでしょうか。

【委員】 WEB アンケートになるということで、聞いたところによると、回収率が低くなる傾向があると聞いたことがあります。それに対して、対策は講じているのでしょうか。

【事務局】 現在、市が実施するアンケート調査は WEB での調査が主流となっています。これまで WEB 調査では、一般廃棄物に関するアンケートや環境基本計画に関するアンケート、第 3 次知立市男女共同参画プランに関するアンケートを実施しております。回答者数は 700～2,000 件ほどとなっており、前回の本計画のアンケートの回答者数 647 人と比べても、遜色のない数字となっています。このため、アンケートを実施しているということを少しでも多くの方に知ってもらうため、広報ちりゅうや LINE での配信、文化施設でのチラシの配布により知っていただくことに努めていきたいと考えています。

【委員】 内容というのは、もう変わらないのでしょうか。また、対象者の年齢に関しましては、18 歳以上としていることに意味はあるのでしょうか。若い人の意見も必要ではないでしょうか。

- 【事務局】 調査内容につきましては、委員のみなさまの意見を聞いて決めるものですので、修正すべきところは修正します。対象者の年齢に関しましては、前回の調査と同じにさせていただいており、特別な意図はありません。
- 【委員】 前回は紙ベースでの調査であったため、世帯の大人の方に郵送したということだと思うのですが、そもそも大人向けの調査ということであれば、変えなくてもよいかと思います。
- 【委員】 調査の対象について、あらかじめ設定はしているのでしょうか。母集団を意識した、年齢や性別など調査設計はないのでしょうか。
- 【事務局】 前回の調査のような無作為の抽出による調査票の配布の場合は、抽出する際に年代や性別などの設定が可能ですが、今回の場合は、不特定多数の方に見ていただき、回答に協力を依頼することになります。偏らないように広く周知をすることを意識したいと考えています。主には LINE の配信により、多くの回答が得られると思いますが、LINE の登録者数は「観光・イベント、文化、スポーツ」のカテゴリーでは 25,000 人ほどいます。LINE 登録者数全体を見ますと、30 代や 40 代の方の登録が多いのですが、70 代の方の登録もあります。登録のない方に対しては、広報ちりゅうで発信をしていきたいと考えております。
- 【委員】 年齢の偏りに関しては、分析の際に勘案することもあると思います。
- 【委員】 70 代の方も LINE は活用されていることが私の周りでは多くいます。前回の比較ということであればいいのですが、若い人の意見を吸い上げるということでは、比較対象にならないにしてもよい機会になると思いますので、ご検討いただきたいと思います。
- 【委員】 事務局でご検討をお願いします。ほかにはございますか。
- 【事務局】 今後のスケジュールに関しまして、本年は 4 回の会議を実施する予定となり、本日は 1 回目の会議となります。2 回目の会議では、アンケート調査の結果の報告と、計画や指標の見直しの有無などを議論し、3 回目の会議ではパブリックコメントに向けた原案を示したいと考えております。パブリックコメントが終わりましたら、修正案をお示しし、第 4 回の会議で、議会上程前の案の確定をしたいと考えております。
- 【委員】 ほかにはございますか。調査方式も違いますので、指標の出方も異なってくると思います。結果を受けての分析や考察は前回よりも難しいのではないかと思います。

【事務局】 同じ方式での調査ができればよいのですが、調査方法に関して、文化課に限らずWEB 調査となっています。文化施設で調査を行えば、当然ながら調査結果が変わってくると思います。結果を見ないとなんとも言えないですが、分析の際は注意したいと思います。

【委員】 それでは「(1) 知立市文化芸術推進基本計画中間見直しにおけるアンケート調査について」は以上とします。事前に事務局が照会した議題は以上です。

(5) その他

文化芸術団体、施設の行事等に関する意見、情報交換

閉会